

2024年8月16日(金)第36回例会

【オンライン開催】ZOOM



会長の時間



沖縄首里 RC 会長 坂東 隆弘

Donald Cater ロータリーの方向性を大きく変える助言を行った人物です。

1905年2月23日、ポール・ハリスは、初の会合で一つの職種から1人だけ会員を選ぶという「一業一会員制の原則」を決め、次いで、3月23日、シカゴ・クラブの創立総会において、「規則的例会出席の原則」を採択しました。これらは何れもクラブの親睦を守るための基本原則ですから、この時点では親睦だけのロータリーでした。



Donald Cater

ところが1906年4月、ドナルド・カーターの有名な物語が起りました。

その物語は、シカゴ・クラブ二代目会長アルバート・ホワイト Albert White の時、フレデリック・ツイード Frederic Tweed (ガラス製造? 鋳鉄場?) がドナルド・カーター (職業分類は日本流に言えば弁理士ですが、アメリカ流に言えば特許専門の弁護士) にクラブへの入会を勧誘したところ、彼はクラブの互惠主義の説明を聞いて、『君達はお互いに助け合って、豊かになって楽しいだろう。しかし、一業一会員制の原則であれば、クラブに入れぬ同業者は一体どうなるのか。また、職業人の集まりであれば、職業を持たない一般地域社会の人達は一体どうなるのか。私達は、この地域社会に生まれ、地域社会に育てられ、地域社会にお世話になって暮らしている。このお世話になった地域社会に何らの恩返しもしない。何らの足跡も残さないで、自分達だけが助け合って隆々と栄えて、やがてこの世を去っていく。そのようなエゴイズムの団体は永続性がないだろう。自分は、二度とない人生を、そのようなエゴイズムの世界におくことはできない』と言って入会を断ったのです。これを聞いて、痛く反省したのがポール・ハリスでした。

『カーターの言うとおりの。クラブの行き方を変えよう』と言って、職業人の親睦のエネルギーを世のため人のために使おうと考えるに至ったのです。

実は、このドナルド・カーターの忠告から出てくるポール・ハリスの反省が、ロータリーにおける奉仕概念の誕生の物語でした。と同時に、それは、ロータリー拡大の系譜の始まりでもありました。何故なら、先程申し上げたようにロータリーが親睦だけの仲良しクラブであれば、それはシカゴにだけあれば充分であって他に作る必要はないのですが、世のため人のための奉仕を目的とするクラブであるならば、シカゴだけでなく全米の地域社会にあって然るべきものだというロータリー拡大の理念が出てくるからです。

要するに、1906年以前にはロータリーに奉仕という考え方はありませんでした。ただ、職業人の淋しさ、心の渇きを癒すためにロータリークラブを作ったに過ぎなかったのです。それは親睦と相互扶助の世界でした。

したがって、1906年春に至って、ドナルド・カーターの外部的な刺激により、初めてロータリーの世界に『我らの親睦のエネルギーを世のため人のために』という奉仕の考え方が出てきたわけです。

そして、1907年、アーサー・フレデリック・シェルドンによって原理的にロータリーの奉仕概念が開発・完成されて、親睦だけのロータリーが親睦と奉仕のロータリーへと変化したのです。

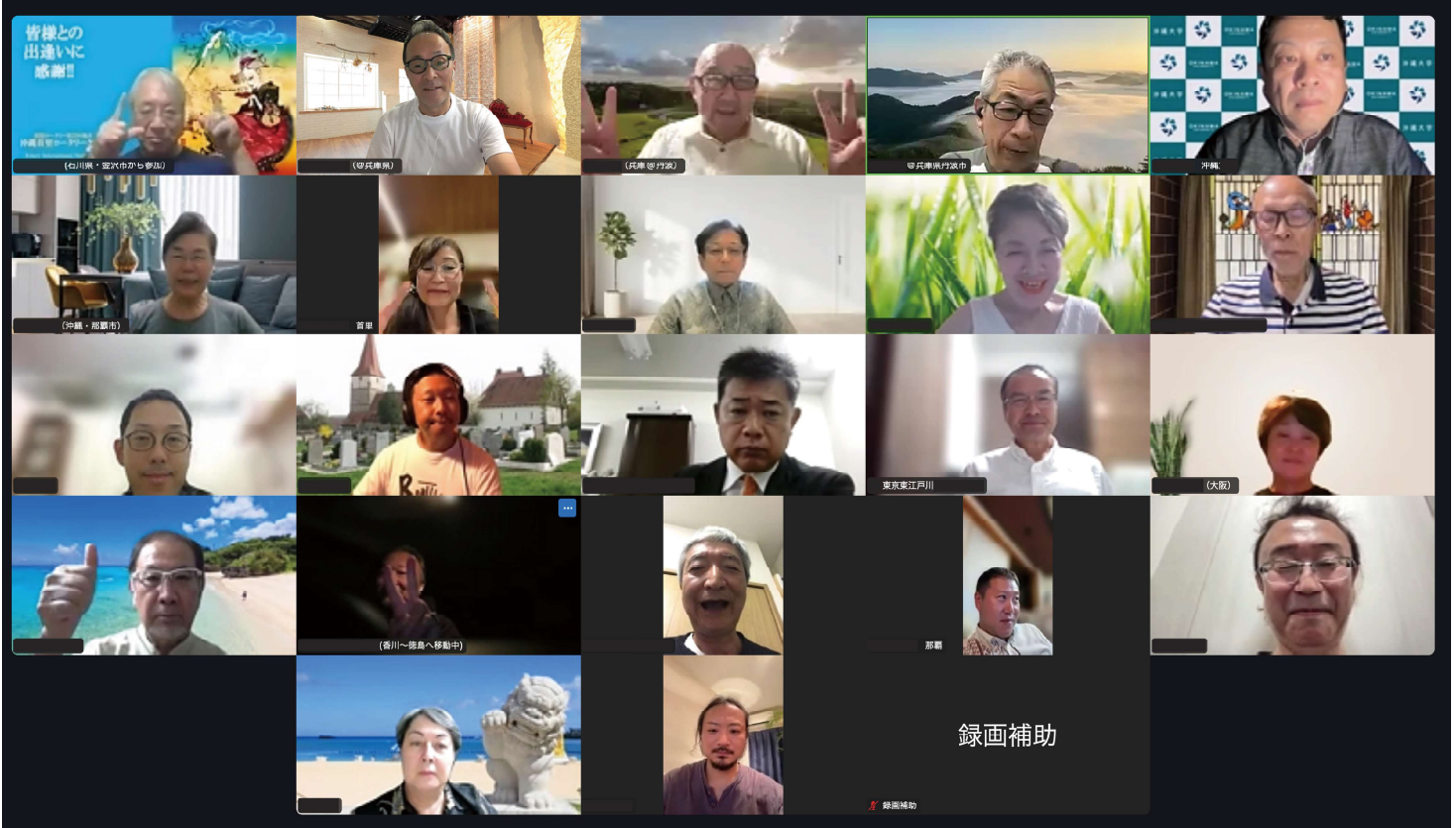
と、ここまでは、ロータリーの歴史を学ぶと必須の有名な話ですが、私は、ここに登場した Frederic Tweed にいたく感心しました。この当時のシカゴロータリークラブは、入会希望者がたくさんあり現実に会員もどんどん増えていました。そんな折、多少の苦言を言われても普通、耳を貸さなんでしょう。彼はドナルド・カーターの意見を聞き、クラブに入会して変えようと彼を説得し、クラブに持ち帰り、ポール・ハリスにきちっとその旨を伝えたのです。

もしツイードが、これを無視して報告しなければ、ドナルド・カーターとポール・ハリスは、決して交わらず、反省も変更もなく親睦だけの原始ロータリーは続き、今の様な発展はなかったかもしれません。当時のロータリーの隆盛を横目で見て、ドナルド・カーターのように思ライオンズを創立していた人は、他にもおられたでしょう。「一業一会員制の原則」で会員のチャールズ・ニュートン (損害保険) と被って入会できなかったメルビン・ジョーンズ (損害保険) もその一人で、のちにします。違った意見に、素直に耳を貸す。そして、報告する。よく検討する。取り入れる、組織の発展にはとても重要なプロセスだと思います。ドナルド・カーターの有名な話を違った側面からお話ししました。

例会次第

開会点鐘	坂東 隆弘 会長
ロータリーソング「奉仕の理想」	
ビジター・ゲスト紹介／司会	土田 光一 幹事
会長報告の時間	坂東 隆弘 会長
幹事報告	土田 光一 幹事
委員会報告等	各委員長
近況報告	
閉会点鐘	坂東 隆弘 会長

ZOOM 例会の様子



幹事報告



土田 光一 幹事

今後の主な活動・会議

- 「久高島への搬送車両贈呈セレモニー」
日時：2024年8月27日（火）14：00～
場所：島尻消防本部
南城市玉城字屋嘉部 194 番地
- 「久高島での車両引渡しセレモニー」
日時：2024年8月28日（水）16：00～
場所：久高島内

■報告事項

① 地区補助金の件

2024-25 年度地区補助金を申請しておりました件、ロータリー財団本部より承認の連絡がありました。OSRC の本年度事業のネパール支援事業を進めていきたいと思っております。

■次回例会

- 8月23日（金）CR45 ちょこっとロータリー
午後0時10分～午後0時55分
- 9月6日（金）2024年8月理事会 ハイブリッド
午後6時～午後6時45分
会場はオリオンホテル那覇 B1 ガジュマル
- 9月6日（金）第34回例会 ハイブリッド
午後7時～午後8時
会場はオリオンホテル那覇 B1 ガジュマル

リアル出席のオリオンホテル那覇でのお食事について

1食 4,000円コーヒー付きです。
最低数量は15人となっています。多くの皆さまのリアル出席をお願い致します。
食事の締切りが1週間前までとなっています。早めの申し込みをお願い致します。
食事の申し込み後のキャンセルは3日前の17時までです。

出席報告

参加者：24名 【出席率：60%】

次回例会のお知らせ

第37回例会

開催予定日時：2024年9月6日（金）19:00～20:00
開催方式：ハイブリッド
プログラム：未定
会場：オリオンホテル那覇 B1ガジュマル



沖縄首里 RC 事務局
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 2-21-1-201 IUU 株式会社社内
Email osrc-office@okinawashuri-rc.jp
Call 098-867-3300



District 2580
Rotary

Club of Okinawa Shuri

